

農林漁業体験は、食べ物に対する意識や関心の変化と関係しています

農林漁業体験をすることは、食べ物に対する意識の変化や関心の高まりと関係しているという研究結果がいくつか報告されています。

農林漁業体験に取り組むとこんないいこと

- 1 小・中学生を対象とした研究では、農林漁業体験に取り組むことで、食べ物を大切にする意識や食べ物への関心をもつようになることが報告されています。*1
- 2 幼児を対象とした研究では、農林漁業体験に取り組むことで、野菜を食べる量が増えるなど、食生活にいい影響を与えることが報告されています。*2



研究ノート

～野菜作り体験学習に取り組んだ事例～

誰を調べたの？	福岡県内の小学3年生の児童64人を対象に総合的な学習の時間に「野菜作り体験学習」を半年間実施しました。
何を調べたの？	体験学習を実施することで、環境や食農に対する意識、日常行動や食習慣にどのような影響を与えるかを調べました。そのため、体験学習を経験した児童には、学習の前と後にアンケート調査を実施しました。また、体験学習を実施していない学校の児童には、比較のためにアンケート調査のみを実施しました。
何が分かったの？	アンケート調査の項目のうち、「食事について好き嫌いが無い」「いつも野菜を多めに食べたい」と回答した児童の割合は、「野菜作り体験学習」の実施前より実施後のほうが、また、体験学習を実施していない学校の児童よりも体験学習を実施した学校の児童(学習実施後)のほうが、多いことがわかりました。

英 格ら, 農業体験学習が環境意識と食習慣に及ぼす影響の比較分析-教育効果と地域効果の分離の視点から-, 環境教育, 2014, 24(2), p.40-49[論文番号1]

*1 論文番号(農林漁業体験): 1, 2, 5, 7, 8

*2 論文番号(農林漁業体験): 6, 9

論文一覧はこちらに掲載しています(農林水産省ホームページ): <http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/evidence/index.html>